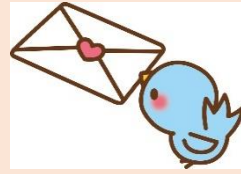


SSR

山口大学

学生特別支援室だより

News Letter



学生特別支援室(SSR)の取組

学生特別支援室(SSR: Student special Support Room)では、平成27年6月に設置されて以降、障害等のある学生の修学支援のための学内拠点として、支援体制整備、相談・支援、支援者の育成・研修などの業務を実施してきました。

山口大学の 支援体制

- 学内規則の策定：学内規則・基本方針・申合せの策定
- 支援拠点の整備：学生特別支援室設置、専任教職員の配置、支援学生育成
- 全学委員会の設置：障害学生修学支援委員会、障害学生連絡会

相談・支援

- 相談・面談：手帳・診断書の有無に関わらず、相談対応や定期面談を実施
- 授業中の支援：「配慮願」の配布、座席指定、実習補助などを実施
- 支援の申請制度：手帳又は診断書があり、支援を希望している学生が大学に対して支援の実施を求めるために、支援の申請を行うことができます

育成・研修

- 学内支援者の育成：支援学生の育成・活用
- アクセシビリティリーダー育成プログラムの実施
- 研修会の開催：支援スキル研修会、FD・SD研修会の開催

SSRでの相談をご希望の方は、事前に予約いただけると確実です。

FD研修会を開催しました

本年度から「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」が施行されたことを受け、本学でも障害等のある学生への支援体制の整備が進められてきました。

学生が所属する学部・研究科、学生特別支援室、関連部局(保健管理センター・学生相談所・就職支援室・学生支援部)が連携・協力して対応するためには、関係者間の理解・情報共有が重要です。このため、学部・研究科との協力体制強化の一環として学生特別支援室では、2016年6月～10月にかけて、全学部・研究科でFD研修会を実施し、のべ500名(FD研修会427名+アラカルト研修会73名)の教職員が参加しました。研修内容としては以下のようなことについて説明するとともに、最後には意見交換が行われました。

- 「障害者差別解消法」の概要
- 山口大学の障害学生修学支援体制
- 支援の申請制度
- SSRの利用方法 等



開催日	学部(開催時間)	研修会
6/15(水)	理学部	FD
7/20(水)	経済学部	FD
7/20(水)	教育学部	アラカルト
8/4(木)	医学部	FD
9/7(水)	工学部	FD
9/14(水)	共同獣医学部	FD
9/21(水)	人文学部	FD
"	教育学部	FD
9/27(火)	技術経営研究科	FD
10/19(水)	農学部	FD
"	国際総合科学部	FD

アクセシビリティリーダー育成プログラムのご案内

アクセシビリティとは？

何らかの対象へのアクセスのしやすさを、「アクセシビリティ」と言います。

アクセシビリティは、情報やサービス、製品や環境等の利用しやすさ、参加しやすさ、分かりやすさ等を示す概念として使われることも多い言葉です。

社会や状況、ニーズ等の多様性を踏まえた「アクセシビリティ」を考慮できる人材が求められています。

アクセシビリティリーダー(AL)とは？

アクセシビリティリーダー(AL: Accessibility Leader)は、多様性社会の様々なアクセシビリティ(利用しやすさ、参加しやすさ、分かりやすさ等)を推進できる人材です。

個人や社会、環境や状況等の多様性を理解し、分野を超えた柔軟な発想で社会のアクセシビリティを推進することが期待されています。

アクセシビリティリーダー育成プログラム(ALP)とは？

アクセシビリティリーダー育成プログラム(ALP)は、アクセシビリティリーダー育成協議会の会員団体にて実施されている教育プログラムで、「教育課程」「資格認定」「インターンシップ」「キャンプ」から構成される、総合的な人材育成・活用プログラムです。

参考:アクセシビリティリーダー育成協議会HP
<https://al-pc.jp/web/>

山口大学でできること

- 山口大学では「2級アクセシビリティリーダー」育成プログラムを実施しています。
 - 山口大学の学生・教職員はどなたでも受講可能です。
 - 興味のある方は、学生特別支援室までお問合せください！
- アクセシビリティ教育課程 ※対象:教職員、学生 ※受講料:無料
 - オンライン講座 ステップ1(導入編):全1章 1時間程度で学習できる内容
 - オンライン講座 ステップ2(基礎編):全6章 6時間程度で学習できる内容
- 2級アクセシビリティリーダー認定試験(年1回 12月に実施)
 - 事前申し込みが必要です。
 - オンライン講座が終了していることが受験の条件です。
- アクセシビリティリーダーキャンプ(ALC) ※AL資格取得学生対象
 - 最新のアクセシビリティ・ニーズとアクセシビリティ・ソリューションを学ぶ場として、「社会のニーズを知り、人にやさしい未来を考える」をテーマに、毎年東京で開催されています。
 - AL資格を取得した学生を対象とした課題研修合宿で、AL育成協議会に参画する会員大学から選抜されたAL認定取得学生が参加しています。
 - ALCは産学官が連携する「アクセシビリティリーダー育成協議会」により開催されるため、大学では経験できない貴重な研修プログラムが用意されています
 - 山口大学からは、平成26年度から2級ALを取得した学生が参加しています。

現在、1級ALの
プログラムを
準備中！



アクセシビリティリーダー育成協議会

- AL育成協議会 事務局 : 広島大学アクセシビリティセンター内
- AL育成協議会 会員団体: 富山大学、大阪教育大学、大阪大学、関西学院大学、徳島大学、鳥取大学、岡山大学、広島大学、広島国際大学、広島文教女子大学、山口大学、九州大学、日本学生支援機構、日本マイクロソフト株式会社、富士通株式会社、株式会社イフ(平成28年10月現在)

平成28年度前期 SSRスキル研修会 開催報告

学生特別支援室では、昨年度に引き続き平成28年度前期、支援スキルを学ぶ研修会を開催しました。研修会では、様々なスキルについて気軽に触れることができます。

報告作成: SSR学生スタッフ(勢万、豊田、園田、成松)

手話で挨拶①

4月28日(木)5コマに、13名(うち学生スタッフ2名)で手話とノートテイクの研修を行いました。初めに指文字表を見ながら自分の名前を練習し、その後、学部や学年、好きなものなどについて手話を交えながら自己紹介を行いました。手話や指文字に興味を持ってくれる参加者からは「手話で名前以外の自己紹介ができて楽しかった。色々覚えられたので使ってみたい」という声もありました。

車いす操作

5月19日(木)5コマに、6名(うち学生スタッフ2名)で車いす操作とノートテイクの研修を行いました。車いす操作では、二人組のペアになり、車いすの開き方やたたみ方などの基本的な操作を確認しました。また、試し乗りをして慣れた後、講義室まで車いすで移動し、ドアの開閉や段差の補助の仕方等を実際に体験しました。

指文字練習

6月23日(木)に、参加者8名(うち学生スタッフ2名)で指文字とノートテイクの研修を行いました。手話研修でも少し触れた指文字で五十音や長音等のおさらいをした後、自分の名前を指文字で表したり、指文字でしりとりをしました。最後にはペアになり、1人が出されたお題を指文字で表し、もう片方がそれを読み解くという練習もしました。「ゲームのようで楽しく練習できた」という意見がありました。

ノートテイク研修

各研修会では、毎回ノートテイクの研修を行いました。

手書きとパソコンに分かれ、短い文章から始め、回を重ねる毎に長さや内容を変えて練習しました。ノートテイクの説明の際は、「ここにはいない人が見ても伝わるように」を心がけて練習しましたが、初めて挑戦した方も多く、苦戦しているようでした。しかし、一回の研修会の中でも慣れてくると内容を絞ったテイクができるようになっていきました。また、継続して研修会に参加した学生たちは、段々とスキルアップしていくのを実感しているようでした。「予想以上に難しかった」「パソコンでやってみたが、手書きのときと同じくらい遅かった」という感想の中にも、「難しかったので、練習を積み重ねていきたい」「パソコンで連携テイクをしてみたい」等の意欲的な意見もありました。

ガイドヘルプ

7月14日(木)に、参加者6名(うち学生スタッフ2名)で、見えにくさの疑似体験とガイドヘルプの練習、ノートテイクの研修を行いました。

まず、底に穴の開いた紙コップを使い、視野が限られている場合の見えにくさを体験しました。その後、見えにくい人とサポート役に分かれてペアを組み、教室内で歩行に慣れるところから始め、方向転換の仕方や狭い通路での歩き方、有効な声のかけ方等のガイドヘルプの基本練習を行いました。「見えにくさを手軽に体験できたので良かった」「ガイドヘルプで案内するのは難しかった」「見えにくいとこんなに不便なのだということがわかった」等の感想をいただきました。

手話で挨拶②

8月4日(木)に、参加者9名(うち学生スタッフ2名)で手話や指文字の練習、ノートテイクの研修を行いました。

手話についての説明の後、「おはよう」「こんにちは」等の簡単な挨拶から始め、ペアで名前や出身地、好きなもの・嫌いなもの等の自己紹介を行いました。また、自分の名前を指文字表で確認しながら、伝え合うことができました。「手話は思っていた以上に面白かった」「手話には一つ一つ意味や由来があり、面白かった」という感想があがりました。



指文字を練習中!

学内バリアフリー調査

学生特別支援室では、学生スタッフが中心となり、以下のような学内のバリアフリー調査を進めています。調査結果が、学内のマナー改善や施設改修等につながればと考えています。

点字ブロック調査

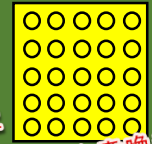
学内に敷かれてる点字ブロックを実際に歩き、点字ブロックが割れていたり剥がれかけていないか、付近に障害物はないか等を調査し、地図にまとめています。

線状ブロック



突起の方向に進む

点状ブロック



注意喚起!

身障者用駐車場の調査

学内の駐車場について、身体障害者用駐車場の有無や、駐車場の幅、利用のしやすさや障害物の有無等を調査し、地図にまとめています。

吉田キャンパスには

6カ所9台分の身障者用駐車場があります!

駐輪場の利用状況調査

主に吉田キャンパス内にある駐輪場について、利用状況や混み具合等の定点観察調査を行っています。

自転車であふれた進路を、苦労して歩いた経験はありませんか？
車いす利用者や視覚に障害のある人にとっては、さらに移動が難しいかもしれません。

通路や点字ブロック、スロープ出入口を自転車でふさぐと危険です!

バリアフリーマップ作成

昨年度から引き続き、学内のバリアフリーマップを作製しています。正門から共通教育棟や各学部、主要な施設への移動について、車いすでも安全に通行できるルートを設定、調査し、地図やパワーポイント等にまとめています。

今後は、様々なニーズに沿ったマップの作製も進めていきたいと思っています。

平成28年度 SSR学生スタッフ活動報告会

平成28年度SSR学生スタッフの活動報告会を開催し、学内バリアフリー調査の進捗状況を報告しました。報告会では、ノートテイク(パソコン連携による要約筆記)のデモンストレーションも行いました。6名の学生スタッフが活動報告とノートテイクを行い、24名の教職員が参加しました。

1. 開催日時 平成28年9月16日(金)14時00分～
 2. 開催場所 共通教育15番教室
 3. 内容
 - ー1. SSR学生スタッフの活動 概要報告
 - ー2. 身障者用駐車場調査
 - ー3. 点字ブロックの調査
 - ー4. 駐輪場の状況調査
 - ー5. 質疑応答
- ※ノートテイクデモンストレーション



ノートテイク

報告会の様子

山口大学 学生特別支援室(SSR)

利用時間: 10:00～18:00(土日・祝日を除く)

場所: 共通教育本館1階 就職支援室横

TEL: 083-933-5256

E-mail: shien@yamaguchi-u.ac.jp